キャラクター名
十二　ハイラ

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ キュマイラ	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	UGNチルドレン
オプショナル		年齢	16歳	性別	男
覚醒	感染	衝動	破壊	初期侵食率	30 %
出自	結社の一員	経験	力の暴走	邂逅	守るべきもの

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	6	1	0			7
感覚	0	0	2			2
精神	0	0	1			1
社会	2	0	0			2

HP	35
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	6		調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
破壊の爪	白兵	7r+6	1	8+Lv		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	
コネ：要人への貸し	
思い出の一品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Dロイス：野獣本能	P	N		
十二　ショウトラ	P　尊敬	N　恥辱		
十二　バサラ	P　庇護	N　偏愛		
十二　アニラ	P　尊敬	N　不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P： 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：キュマイラ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：判定のクリティカル値-LV								
完全獣化	2	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：シーン中【肉体】の判定のダイス+[Lv+2]								
軍神の守り	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果：カバーリングを行う								
獣の力	3	2	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果：攻撃力+［Lv*2］								
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：素手のデータ変更								
復讐の刃	2	6	オート	至近	単体	対決	-	
効果：リアクションを放棄して、対象にリアクション不可、クリティカル値ーLvの白兵攻撃を行う。このエフェクトは組み合わせられない								
猫の瞳	1							
効果：暗闇でも見える								
獣の直感	1							
効果：勘が鋭くなる								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

つなしじ　はいら
使用ルルブ：基本①②、上級

５歳の頃に両親のショウトラとアニラと共にＵＧＮの施設に訪れ、誤って高濃度のレネゲイドの塊である「龍神の左腕」に触れてしまい覚醒、龍神の左腕はハイラの身体と融合し暴走、施設を半壊させるまでの大事故となった。このことのお咎めは奇跡的にほとんどなかったが、ハイラはチルドレンとなることを余儀なくされた。
力に飲み込まれ幾度となく暴走してすっかり後ろ向きになっていたハイラは当時、教官をしていたショウトラに「お前の力は壊すだけの力じゃない、母さんやみんなを守るためにだって使えるんだ」と言われ立ち直り必死に努力し力をコントロールできるようになる。バサラが弟になってからは守るべき家族が増えたことで更に訓練に力を入れるようになった。

チルドレンとしての能力は優秀であり、支部の任務の約五分の一程度をこなしている。また、最近はアニラからの任務以外の業務もこなしているのだが、数名の支部職員と共にＵＧＮと関係のないことを極秘で行っているらしい。また、その行動を調査するためにエージェントを派遣しても「ああ、何もありませんでしたよ」とにこやかに報告するだけである、なお、その後この件に関して聞こうとしても適当にはぐらかされる。
学校へは病弱だという偽の理由を使いあまり登校しない。

神龍の力を押さえつけるためにエネルギーを使っているため普段は穏やかでぼーっとしているようにみえるが、戦闘中(龍が出ている間)は常に興奮状態となり会話も所々おぼつかなくなる戦闘になると背中から緑青色の龍を出して自在に操り相手をつかみ、皮膚を同じ色の鱗に硬化し鋭い爪を生やした右腕で殴り飛ばす！

通常時「えっ、無理しすぎ？僕以外の誰かが危ない目に合うよりましだからさぁ…ふぁ～」
戦闘時「まだ壊れナイノ！はぁ、よかっタァ！」